

平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 日本フェンオール株式会社
 コード番号 6870 URL <http://www.fenwal.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田原 仁志
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括部長 (氏名) 中野 誉将

TEL 03-3237-3561

四半期報告書提出予定日 平成30年11月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	9,072	13.1	863	9.5	902	10.4	616	13.6
29年12月期第3四半期	10,434	15.6	954	15.3	1,006	10.4	713	8.3

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 482百万円 (50.9%) 29年12月期第3四半期 983百万円 (182.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	104.66	
29年12月期第3四半期	121.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第3四半期	16,584	11,584	69.8	1,965.85
29年12月期	17,605	11,425	64.9	1,938.99

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 11,584百万円 29年12月期 11,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		55.00	55.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,625	4.8	1,604	14.3	1,663	12.7	1,165	3.3	197.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	5,893,000 株	29年12月期	5,893,000 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	332 株	29年12月期	332 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	5,892,668 株	29年12月期3Q	5,892,684 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に企業の設備投資が底堅く推移したほか、個人消費の持ち直しや米国を中心とした海外の景況感の改善などにより、堅調に推移いたしました。一方、先行きの景況感は、相次ぐ自然災害の経済に与える影響に加え、貿易摩擦の激化に伴い不確実性が高まる等、不透明感も懸念される状況となっております。

また、当社グループを取り巻く環境につきましては、建設業界における人手不足、産業機器における電子部品の入手難及び価格高騰等により厳しい環境で推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループにおきましては、「安心を創造し人と社会をつなぐ企業を目指す」を企業ビジョンに掲げ、「持続的な成長の実現」に向け、差別化された高付加価値製品の開発、販売に注力することにより、収益力を高め企業価値の向上を図ってまいりました。また、長野工場におきましては、生産ラインの改善による作業効率向上、新生産管理システム稼働による管理コストの削減など、積極的に生産体制強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、受注高は8,811百万円(前年同四半期比22.8%減)、売上高は9,072百万円(前年同四半期比13.1%減)となりました。

利益面におきましては、売上総利益率の向上等により収益性は改善したものの、営業利益は863百万円(前年同四半期比9.5%減)、経常利益は902百万円(前年同四半期比10.4%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は616百万円(前年同四半期比13.6%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

SSP (Safety Security Protection) 部門

当該部門におきましては、首都圏における再開発案件は順調に推移したものの、深刻な人手不足等により、一部工事に遅延が発生しており、また、電力等基幹産業向け防災設備案件につきましても、計画、工期に遅延が発生するなど厳しい状況で推移致しました。一方、産業用検知器の需要は、企業の防災意識向上による拡販を図るための営業活動を積極的に推進した結果、好調に推移いたしました。

以上の結果、受注高は3,119百万円(前年同四半期比28.2%減)、売上高は3,372百万円(前年同四半期比4.6%減)となりました。

サーマル部門

当該部門の主要取引先の多くが属する半導体業界は、スーパーサイクルの先導役となったメモリーの増産による価格下落が始まったことなどにより、当第3四半期連結会計期間におきましては、若干の需要減速で推移いたしました。これに伴い、当社の主力製品であるセンサー、熱板の出荷も減少いたしました。

以上の結果、受注高は962百万円(前年同四半期比3.1%減)、売上高は979百万円(前年同四半期比7.2%増)となりました。

メディカル部門

当該部門におきましては、主力製品である海外向け人工腎臓透析装置は当第3四半期連結会計期間においても好調を維持しております。また、国内向け人工腎臓透析装置用の要素部品につきましても客先の需要増により、出荷が増加いたしました。

以上の結果、受注高は1,221百万円(前年同四半期比4.3%増)、売上高は1,182百万円(前年同四半期比16.4%増)となりました。

PWBA (Printed Wiring Board Assembly) 部門

当該部門におきましては、医療機器系プリント基板の出荷増加、主要顧客のソリューションビジネスにかかわる新規受注獲得など、一部に明るい兆しが見えたものの、事務機器業界の継続的需要低迷による出荷減少等により厳しい環境で推移いたしました。

以上の結果、受注高は3,507百万円(前年同四半期比28.4%減)、売上高は3,538百万円(前年同四半期比28.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は16,584百万円となり、前連結会計年度末17,605百万円に比べ1,020百万円(5.8%)減少しております。主な減少要因は「受取手形及び売掛金」596百万円(25.2%)、「長期預金」500百万円(100.0%)、「投資有価証券」213百万円(7.9%)によるものであり、主な増加要因は「有価証券」300百万円(100.0%)によるものであります。

負債合計は5,000百万円となり、前連結会計年度末6,179百万円に比べ1,179百万円(19.1%)減少しております。主な減少要因は「支払手形及び買掛金」808百万円(28.6%)、「未払法人税等」198百万円(76.7%)、「工事未払金」142百万円(27.9%)によるものであります。

純資産合計は11,584百万円となり、前連結会計年度末11,425百万円に比べ158百万円(1.4%)増加しております。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益616百万円によるものであり、主な減少要因は配当金の支払324百万円、「その他有価証券評価差額金」148百万円(12.8%)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、SSP部門における工期の遅延等があり連結業績予想を若干下回るペースで推移しているものの、これらは第4四半期に完成の見込みであります。

また、その他の部門については概ね予想どおりに推移しております。

これらの状況を勘案した結果、平成30年2月13日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,714,157	5,713,814
受取手形及び売掛金	2,372,022	1,775,068
電子記録債権	1,147,102	1,180,307
完成工事未収入金	904,010	940,112
有価証券	—	300,000
製品	303,036	267,753
仕掛品	230,461	237,033
原材料	1,503,289	1,520,296
未成工事支出金	601,554	603,178
その他	80,343	73,903
貸倒引当金	△3,899	△3,983
流動資産合計	12,852,079	12,607,483
固定資産		
有形固定資産	1,218,708	1,157,294
無形固定資産	182,636	183,105
投資その他の資産		
投資有価証券	2,686,849	2,473,771
長期預金	500,000	—
その他	189,460	187,289
貸倒引当金	△24,287	△24,282
投資その他の資産合計	3,352,022	2,636,778
固定資産合計	4,753,366	3,977,177
資産合計	17,605,446	16,584,661
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,828,284	2,019,828
工事未払金	510,823	368,073
短期借入金	267,800	498,142
1年内償還予定の社債	32,000	32,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	—
未払法人税等	258,767	60,265
賞与引当金	—	129,676
役員賞与引当金	—	14,400
その他	692,948	452,202
流動負債合計	4,690,624	3,574,587
固定負債		
社債	336,000	320,000
長期借入金	300,000	350,000
役員退職慰労引当金	67,787	74,865
退職給付に係る負債	357,161	311,678
資産除去債務	23,852	23,852
その他	404,216	345,604
固定負債合計	1,489,018	1,426,000
負債合計	6,179,643	5,000,588

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	996,600	996,600
資本剰余金	1,460,517	1,460,517
利益剰余金	7,609,291	7,901,944
自己株式	△289	△289
株主資本合計	10,066,119	10,358,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,155,486	1,007,420
為替換算調整勘定	248,814	254,857
退職給付に係る調整累計額	△44,618	△36,976
その他の包括利益累計額合計	1,359,683	1,225,301
純資産合計	11,425,802	11,584,073
負債純資産合計	17,605,446	16,584,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	10,434,517	9,072,601
売上原価	8,014,650	6,776,948
売上総利益	2,419,867	2,295,653
販売費及び一般管理費	1,465,825	1,432,407
営業利益	954,041	863,245
営業外収益		
受取利息	9,140	13,554
受取配当金	32,579	31,185
受取保険金	9,600	—
保険解約返戻金	13,592	—
その他	2,443	3,370
営業外収益合計	67,355	48,111
営業外費用		
支払利息	8,142	6,668
社債発行費	3,474	—
為替差損	1,636	1,644
その他	1,325	1,028
営業外費用合計	14,578	9,341
経常利益	1,006,818	902,015
特別利益		
投資有価証券売却益	47,126	—
特別利益合計	47,126	—
特別損失		
特別退職金	40,693	—
特別損失合計	40,693	—
税金等調整前四半期純利益	1,013,251	902,015
法人税、住民税及び事業税	295,774	293,718
法人税等調整額	3,925	△8,452
法人税等合計	299,699	285,266
四半期純利益	713,551	616,749
親会社株主に帰属する四半期純利益	713,551	616,749

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	713,551	616,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	342,461	△148,066
為替換算調整勘定	△78,875	6,042
退職給付に係る調整額	6,045	7,641
その他の包括利益合計	269,630	△134,381
四半期包括利益	983,182	482,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	983,182	482,367

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、フェンオール設備株式会社は、平成30年7月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	SSP部門	サーマル 部門	メディカル 部門	PWBA 部門	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,533,789	913,829	1,015,605	4,971,292	10,434,517	—	10,434,517
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,533,789	913,829	1,015,605	4,971,292	10,434,517	—	10,434,517
セグメント利益	746,411	205,382	32,533	339,781	1,324,108	△370,067	954,041

(注)1 セグメント利益の調整額△370,067千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	SSP部門	サーマル 部門	メディカル 部門	PWBA 部門	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,372,805	979,304	1,182,148	3,538,342	9,072,601	—	9,072,601
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,372,805	979,304	1,182,148	3,538,342	9,072,601	—	9,072,601
セグメント利益	757,479	200,440	42,329	223,250	1,223,499	△360,253	863,245

(注)1 セグメント利益の調整額△360,253千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。